

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 5 号 (通巻 No.98)

2001 年 7 月 6 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道南～道央日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸：6/27～7/5の調査)

スルメイカは高密度で、大型イカも多い

スルメイカの分布密度と大きさ

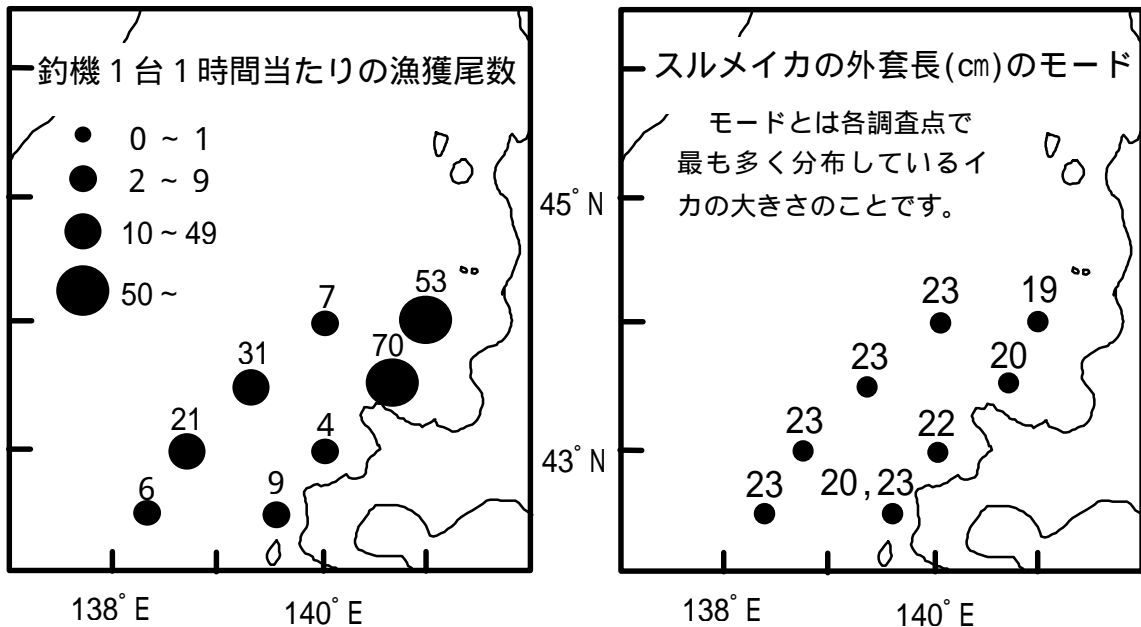


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE: 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 4 ~ 70 で、留萌や積丹半島北方の沿岸寄りでは 53, 70 と分布密度が高いほか、沖合にも 20 以上の調査点がありました (図 1 左図)。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 25 で、前年の 7 を大きく上回りました (図 2)。

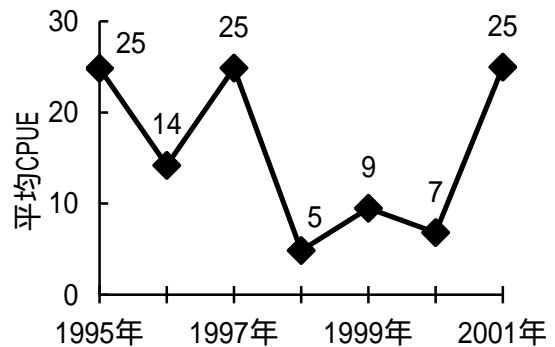


図 2 平均 CPUE の経年変化

スルメイカの大きさは沖合の調査点でモード 23cm と大きく，沿岸寄りの分布密度の高い調査点ではモード 19～20cm でした（図 1 右図）。調査海域全体では，18～23cm の割合が高くなっていました（図 3）。

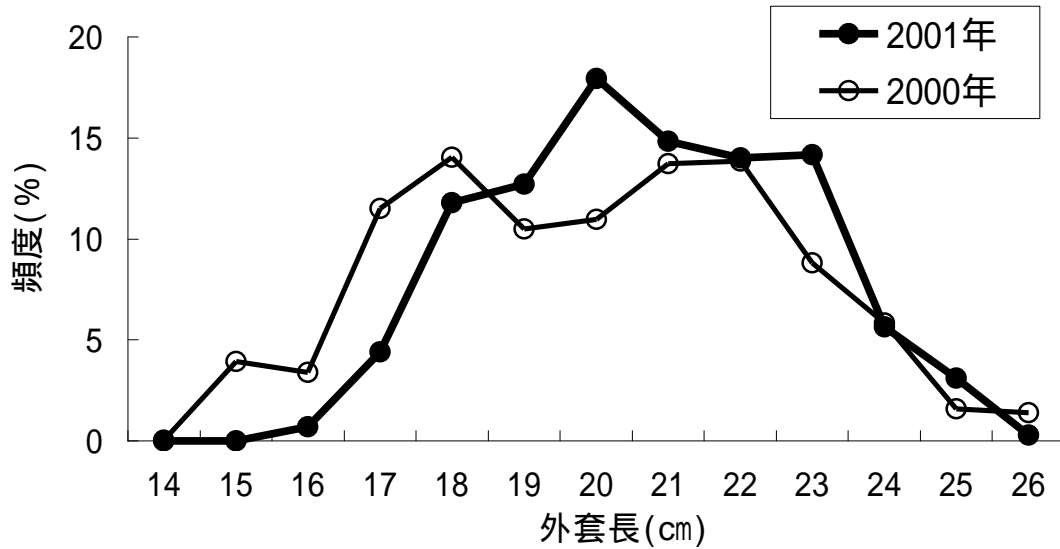


図 3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の 50m 深水温は、2～14 台で，沿岸から沖合に行くほど低くなっていました（図 4）。

標識放流

表 1 のようにスルメイカの標識放流を行いました。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。記念品を差し上げております。

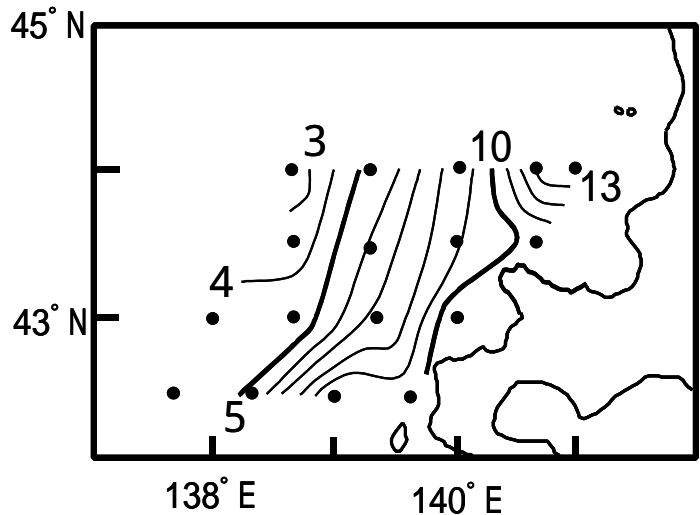


図 4 6月下旬～7月上旬の 50m 深水温分布および標識放流点

表 1 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流場所	標識の色・番号	放流尾数
6月30日	42°59'N、138°38'E	黄色 JP・800～808	882
7月1日	43°30'N、139°20'E	黄色 JP・809～819	1100
7月3日	44°00'N、141°01'E	黄色 JP・820～839	1990
7月4日	43°30'N、140°40'E	黄色 JP・840～849	1000

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。（文責：中央水試 資源管理部）